

第3章 各事例の建物・運営方式の実態

建物タイプ・運営方式を以下の表にまとめる。

【各事例の運営方針】

a：DKハウス神戸

【人生のステップ】いろいろな人と出会い、学び、社会形成したり、あえて自分らしさを抑えなければいけなかったりすることを学んでほしいと考えている。行事も管理人が居住者とのコミュニケーションの中から生まれるなどするが、責任をとったり、管理人が先導している。

b：J&Fハウス関西2

【お世話に留める】干渉などはまったくしないよう、ただ設備の故障などのお世話はきっちりと行えるように常駐している。さらに居住者に直接干渉しないよう、居住者から「副管理人」という役職を与え、その人に面倒を見てもらうようにしている。ただ、入居したばかりの人には声をかけるなどお世話はしている。

c：アンテルームアパートメント

【放任主義】なにかあれば居住者同士で話しあうべきで、それが共同生活だと述べ、管理人部屋をつくるより、それも貸した方が金銭面でも居住者のためになっていくと考えている。ただ素敵な居住者に入居してもらうため年に4回あるシェアハウス内のイベントや共用部の設えにはこだわりが見える。

d：シェアハウス中井

【自然な社会】自然にできていく社会をつくるため、最

後まで見とれる安心を提供しようと努めていた。入居者とは主客の関係ではなく人付き合いを行っている。一度入居してもらったら、なんとしてでも最後まで面倒みる、入居時は保証人などいなくてもだれも拒否しないなどの安心できる自然な社会づくりを徹底している。目指すのはかけこみ寺と述べるなど、要介護者もいるにも関わらず、施設ではなく徹底して住宅へのこだわりがある。そのため補助金などは下りない段差だらけの建物計画となっているが、みんなで乗り越えることが自然な社会であると述べる。

g：オレンジハウス

【楽しませる】常駐している管理人が書き初めや花見など定期的に行事を企画し、居住者を楽しませようという意識が強い。居住者とのコミュニケーションも豊富で、部屋の不具合などもきちんと対応してくれる。ただ安定した運営のために共用部に私物は置かないなどの制度は多い。

i：J&Fハウス大阪

【入居者同士で】決まり事は居住しにくさを生んでしまうという考えのもと、居住者同士でなんとかしてほしいという意識が強い。そのため居住者の中から「副管理人」という掃除の責任を持つなどの役職を与え、居住者同士でコミュニティづくりをしてもらうための工夫を考えている。運営が始まった当初はさすがにきっかけづくりを行っていたが、それ以来行っていない。

	d:シェアハウス中井	g:オレンジハウス	a:DKハウス神戸	b:J&Fハウス関西2	i:J&Fハウス大阪	アンテルームアパートメント								
建物属性	許容人数	120	31	123	90	110	48							
	個室/㎡	120(0)	31(0)	123(0)	70(10)	70(20)	48(0)							
	用途変更	×(寮)	×(荘)	×(寮)	×(2LDKマンション)	×(寮)	○(オフィス)							
	個室内容	ベッド、冷蔵庫、机	ミニキッチン、冷蔵庫、布団	洗面、ベッド、机、冷蔵庫	ベッド、冷蔵庫、机	ベッド、冷蔵庫、机	なし							
	玄関位置	共同玄関	各個室	各個室	各個室	共同玄関	各個室							
	共用部タイプ	動線リビング型	独立リビング型	ダイニングキッチン型	クラスター型	一体型	分散型							
共用部設備	カラオケ、大浴場	特になし	大浴場	シアタールーム	特になし	インテリア充実								
建物ダイアグラム														
	管理人	ほぼ常駐		常駐		ほぼ常駐		常駐		非常駐		非常駐		
		運営側	居住者	運営側	居住者	運営側	副管理人	居住者	運営側	副管理人	居住者	運営側	居住者	
		イベント企画	●	×	●	×	●	▲	×	×	●	●	▲	●
		掃除	●	▲	●	×	●	▲	×	●	●	×	●	▲
		ルール	●	×	●	×	●	×	×	▲	×	×	▲	●
	躰	●	●	●	×	●	×	×	×	●	●	×	×	
	責任	●	●	●	×	●	▲	×	▲	●	●	×	●	
	運営タイプ			運営主導		副管理人(居住者)		放任						
	入居者属性	居住者数	110	28	80	80	70	42						
入居者層		20-80代	20-30代	10-60代	20-40代	20-30代	20-60代							
男:女		6:4	4:6	5:5	5:5	5:5	5:5							
日:海		10:0	4:6	7:3	7:3	6:4	10:0							
介護		●	×	×	×	×	×	×						

図2：各事例の建物タイプと運営方式一覧

第4章 大規模混住の実態と特性

4-1. 一人一人に応じた生活

大規模シェア居住では、食事場所の選択などによる生活配分の個別化が実現しており、さらには人付き合いの有無や場所による密度調整なども気兼ねなく行えている。個人生活の確立は、シェア居住の非制度的な運営の基礎となり得ており、局所的な個別の生活は混在的創発を生み出す要因として考えられる [1-3]。

4-2. 混在する共用部

共用部は居合わせの場として認識されており、居住者は日々小さく変化するメンバーと過ごすことを楽しみ、個人活動や個の登壇が許容されることを親しんでいる。食事など生活の場としても機能している共用部はついで交流・ふとした集合などをも引き起こし、大勢でする食事などは無秩序であるが、居住者の中でハレ空間として求められている。その一方で人の気配や安心を求めて共用部にくる居住者もあり、そういった意識の混在がさらに偶発的な面をより強めている [4-7]。

4-3. 分散した共用部

分散した共用部は、分散した過ごしを可能にし、人付き合いありきの共用部とは違った、居場所として居住者の個別で安定した暮らしを引き出している。空間的な小さな居場所では混在的な共用部とは違った小さな出会いが存在し、個人的な付き合いや深い関係性を生んでおり、個人生活の確立や複層的なコミュニティを引き出す要因となっている [8]。

4-4. 弱い関係性

小規模にはない小さな生活の重なりや間接的コミュニケーションが多く存在し、共用部に行けばだれかいり・夜遅くに帰ってきても電気がついているなど居住縁的な安心を育んでいる。そういった安心は名前も知らない人から料理のおすそ分けをもらう・体調の気遣いをされるなど弱いつながりを実現している。さらに相手のパーソナリティを知るきっかけにもなっており、そういった素地がイベントを起こすなどハレ空間の創

出要因や自己表現のきっかけ機能している [9-11]。

4-5. 強い関係性

1 つめはチームを組んでごはん当番をする・病気の人の看病をする・誕生日を祝い合う・頼み事をする・寝合うなど家族の補完のような強い関係である。次に、イベントの企画・共同調理・外出・旅行など非日常的な場面では頼み事や助け合いが顕著に行われ、強い関係が発揮される。3 つ目は生活の重なりが強い村のような環境では、ごはんの食べる量や、ルーティンなどから相手の体調やスケジュールが把握されており、認知症の人をみんなで見守るなど強い共助が発揮されている。大規模であっても平均的な人付き合いではない、強い関係性も構築されている [12-14]。

4-6. 複層的なコミュニティ形成

シェア居住内には弱いものから強いつながりまで様々であり、大きさも即時的に変化するなど複層的で漂流的な人付き合いが繰り返されている。それぞれのグループで起こる出来事は個別的であり、そのまともまらない無秩序さを楽しみにしている居住者もあり、偶発的な出来事に引き起こしたり、混在度を強化させたりしている [15-17]。

4-7. 自律的な運営

強いルールや制度の少ない大規模シェア居住では集住意識によって、自律的に運営されている。食事場所を選ぶ・全体への気遣い・人付き合いが苦手な人への気遣いなど個人個人が行っているその人らしい意識と、共用部はキレイに使う・共用物は必ず返す・挨拶をする・共用部には私物を置かないなどの全体が認めている暗黙のルール・連帯感など2つが発揮されている。

そういった自律性はトラブルがあっても局所的に解決する・行事への関わり方が自由・自文化を導入する・人付き合いのフラットさを引き出すなど混在的でまともまらない創発を実現している。さらに自律的な運営は即時的にハレ空間をつくりだすことにも有意性を発揮しており、大規模で画一的な居住ではない張り合いのある生活の基礎となっている [18-22]。

[1] 人数多いほうが自分のペース掴みやすいよね。たこちゃんもこそこそマイペース。人知れず動けるのは楽しい。
[2] 共用部に行くかどうかで人との関係を調整する場所、個室で距離をとっている。(DK)
[3] 40代の女性の方ですが、流行りのシェアハウスでべたべた付き合うのは嫌なので、と選ばれた方もいますね。その人はイベントごとなどにはあまり参加されませんが、食事のときに下りてきて料理してみなさんと食べたりコーヒードリしていらっしやいます。(J&F2)
[4] 食事はいつたられかあるんで。誰か食べてのんの横で食べたり。メンバーはおんなじやったりちゃうかったりバラバラです。全然バラバラってこともないですけどある程度決まってるんでその中の組み合わせって感じですかね。(J&F1)
[5] リビングにおおきなカメラを持って行ったりしたときにカメラが趣味だっって知って、このグループができてきたりしましたね。(J&F1)
[6] 企画レベルでもないふとした出来事が重なり合う方が楽しい。準備してなくて、でも小さな幸せがたまたま重なってすごい幸せっていう日が嬉しい。突如として始まるよね。鍋とかお好み焼きパーティーとか。なんの前触れもなく。なんとなく始まる。(アンテ)
[7] この前、みんなでクイズ番組見てて、答えをみんなであれこれ想像して、ばらばら集まって、ちょっとした人数になったのが楽しかったですね。こーやって自然とみんな集まるのはたまにあって、楽しいですね。(J&F2)
[8] あとは洗濯に行きます。洗濯で遅い時間に行くとか全然違うメンバーに会えますね。テレビ見たり食事したりして、洗濯が37分なんですけ

ど、その時間共用部でテレビ見たりしゃべったりすることもあります。
[9] 3階のソファがある場所やねんけど、ちゅらはそこでよく本読んで、私もその場所が好きやからよく行って、お互い本読んでるねんけど、しゃべり始めて、お互いしゃべってまうみたい。自分が好きで行った場所で会っただれかと、ふいにしゃべり始めて、そういう個人のつながりをより深く知ることがあったり。(アンテ)
[10] まったくおりでこない方とかもいらっしやるのでそうゆうかたとかよりは共用部で仕事されてる方とかは同じシェアハウスの人だっって認識もできます。毎日のようにみてたら安心感みたいなのが出てきます。隣近所の人だっってゆう意識と似てるかな。こないだ赤福もらいました。旅行のあれで。ほんとに隣近所のおばちゃんって感じで。(J&F1)
[11] 仕事から帰ってきて、玄関からここ見えるじゃないですか。人が見えるだけで安心しますね。(DK)
[12] 一番うれしかったことは、ひじきももらったことですね。名前もわからない女性の方ですけど、「味の保証はせんけど、食べる？」って言われました。いつも自炊してて、料理上手な人ですね。(J&F2)
[13] チームを組んで、ごはんを当番制にするとところもあります。(J&F2)
[14] 風邪ひいたときとかにドアノブにポカリとかひっかけてくれたりして。ほんとに嬉しかったです。そういうのがいいですね。1人じゃないってのは。(DK)
[15] 認知症の方もいらして。でもリビングとかみんながある場所には1人で来るんやけど。そういう人が食堂の方にふらふらと行ったら、だれかがこっちょこっちょみたく。お風呂が何時とかも知ってっはったりして。

それをこう言うたけたりして。なんかこう、日常生活の中で、その生活のリズムみたいなものを、いつのまにかお互い知ってっはったりして。よく知ってはる。(中井)
[16] 家族みたいやねん。でもいつも家族な訳じゃないねん。(アンテ)
[17] バスケ仲間2人。夜リビングとかで22時くらいから24時くらいまでよくいるメンバー8人。飲み仲間がいたい5人。外の店に行くようなメンバーは3人。初期メンバー8人くらいですかね。メンバーが違うのはそれぞれ楽しいです、1人1人もバックグラウンドが違うんで、それも楽しいですよ。(アンテ)
[18] まともらない良さっていうのはありますよ。その時々で違うっていう。(J&F1)
[19] 最近ちょっと悩んでて、料理してすぐ洗い物した方が、あとの人にとっては良いなっって思っ。最近はそのようになった。フライパンと鍋くらいは、次の人が使うから。自分が洗い物を残したまま、飯くって、あとから料理する人がそれを洗ってくれることが何回かあって、悪いなっって思ったのがきっかけ。特にルールにはなってないけど、してる人もいる。注意する人はいないね。(アンテ)
[20] 暗黙のルールはあると思っすね。使ったものは元に戻す、キレイに使う、最低限で近所さんの迷惑にならないように。(J&F1)
[21] 机をつなげて男の人たちは卓球したりもしています。もちろんお酒を飲んだりもしますね。(J&F2)
[22] 3階のトイレは、それじゃーほくがするっていう、ずっとボラタリーにしてる人がいらっしやいますね。3階のトイレが汚って言われるのが恥ずかしいって言ってはって。(中井)

図3: ヒアリングまとめ

第5章 大規模シェア居住における創発的混住

5-1. 居合わせによる非日常

仲の良いグループで企画された共用部での誕生会では居合わせの人も祝ってくれて大きな会になったり、共用部でカメラ調整をしていた人の周りに興味を持った人が集まってきて、みんなでカメラを持って出かける出来事にまで発展するなど居合わせによる非日常の創出が起っている。誘い合わせでもなく、洗濯を取りに行ったついで、などふとした瞬間に起こることが多く、無意識的なハレの場として居住者の生活に張り合いを持たせている。その出来事によって新たな弱いつながり、突如とした強いつながりを生むなど人との関係性や共用部に対する意識に強い影響を与えている。

5-2. 自律分散的な生活

大勢がいる大きな共用部に行くことを目標としているような人見知りの居住者が分散した共用部で近所付き合いをしていたり、共用部にはほとんど行かないが、気分転換としてみんなの顔を見て共用部で飲むコーヒーに安らいでいる光景がある。大規模が引き起こす埋没性のおかげで、自分らしい暮らしの中でも弱いつながりやふとした出会いを享受している。人付き合いありきの生活だけではない暮らしの混在は、人付き合いが苦手な人への気遣いを生んだり、認知症の人をみんなで見守ろうという連帯感が見られたり、居住者同士の弱いつながりを育てている。自律分散的な生活は、全体としての自律性や連帯感を高めている。

5-3. 無意識の安心

暮らし方の混在は居住者の安心に繋がっている。気遣いの得意な人によって新しい入居者のスタートが安定していたり、共用部に1日5時間もいるような生活が夜遅く帰宅する人の安心につながっているなど、無意識的な安心が存在する。その安心は、共用部に無理に行かなくてもいい、共用部に行けばだれかいる、困ったときに頼れる人がいるなどさらなる安心を引き出し、各生活の安寧に繋がっている。

5-4. 匿名の連鎖

名前も知らない人からひじきのおすそ分けをもったり、シンクに貯めていた洗いがだれか分からないが処理してくれているなどの匿名的な出来事が存在する。そういった出来事はおすそ分けのお返しをしたり、洗い物を見つけたときに自分がしてあげる側になったりと次の匿名的な出来事へと連鎖し、集住意識を刺激し、自律的な運営の基礎となっている。

5-5. 大きくても家族性

家族以上と答えている関係性がある。グループ内の人たちのためにごはんを作るごはん当番、風邪を引いた人のドアノブに食料をかけてあげるなど家族の補完が存在する。大規模では弱いつながりが一体的に広がっているものの、局所的に強いつながりも存在する。

平均的な人付き合いばかりでなく、分散した共用部での個人的な付き合いやイベントが生む強い共同性が生む強い関係性は、強固な安心や全体としての連帯感を作り出す発端になっており、自律的運営の一助となっている。

		d	g	a	b	c	i	特性	
応じた生活	人付き合い	個室コミュニティ	●		●			生活の個別化	
	個人生活	距離調整				●	●		人付き合いの個別化
		食事場所の選択		●		●	●		
		能力の発揮	●		●	●	●		
		室の使い分け			●				
混在的な共用部	混在	個室価値の変化	●				●	表現性	
		埋没性	●				●		
		共用生活とカゴ生活					●		
	局所的	即時的な生活					●	埋没性	
		交流の場	●	●	●	●	●		
		無秩序な大勢食事		●		●	●		
		意識の混在			●		●		
		曜日による変化		●					
		混在的な行事	●						
		個の登壇	●	●		●	●		
変化	個人活動			●	●	●	混在性		
	居合わせの場		●	●		●			
	小さな出会い		●			●			
	メンバーによる変化					●			
偶発	小さく変化する					●	即時性		
	即時的なイベント					●			
	ふとした集合		●		●	●			
	ついて交流				●	●			
弱いコミュニティ	複数	開かれた場	●			●	偶発性		
		小さな居場所	●			●			
		小さな出会い	●			●			
	単数	SNSでの交流	●	●		●	●	弱いつながり	
		間接的					●		
		習う					●		
		安心感		●	●		●		
		遠巻きに参加			●				
		開けっぱなし扉				●			
		気遣い	●						
単数	料理の作り合い		●	●	●	●	匿名的な共助		
	ごはん当番		●	●	●	●			
	おすそ分け	●	●	●	●	●			
	共用物・貸し借り				●	●			
	生活の重なり		●	●	●	●			
強いコミュニティ	平日	料理の作り合い		●	●	●	補完性		
		ごはん当番		●	●	●			
		悩み相談		●	●	●			
	非日常	村	●					つくれるハレの場	
		助け合い	●						
		躰け合い	●				●		
		能力の補完				●	●		
		イベント	●	●					
		共同作業	●						
		気遣い・看病		●	●	●	●		
強い	外出・旅行		●		●	●	大きくても家族性		
	誕生会		●		●	●			
	トラブル	●	●						
	家族	●	●	●	●	●			
コミュニティ形成	小さい	血縁				●	大きくても居場所性		
		補完	●						
		ドミトリー・クスタ・個室	●		●	●		●	
	タイプ	スタッフとの	●					集住意識	
		近所付き合い					●		
		小さいグループ					●		
		個人的な付き合い		●	●	●	●		
		一体的		●	●				
		複層的					●		
		漂流					●		
手招	即時					●	フラットな人付き合い		
	独立					●			
自律的な運営	手招	手招きありの関係	●	●	●	●	感化・影響		
		手招きなしの関係						●	
		設えの提案				●			
	ハレの場	作られたルール				●	●	集住意識	
		自活精神	●				●		
		話し合い・会議	●				●		
		住民発起イベント			●	●	●		
		全体イベント	●	●	●				
		暗黙のルール	●	●		●	●		
		お互い様・連帯感	●	●		●	●		
集住意識	共同生活・気遣い	●	●		●	●	感化・影響		
	気遣いの成熟・順応	●	●		●	●			
	自主的な掃除	●				●			
	人生のステップ		●						
	退去者	●	●		●				
地域との関係			●						

図4: 大規模シェア居住における特性と創発

第6章 放任型の自律メカニズムについて

6-1. 放任型と運営主導型の比較

運営主導型は共用部での個人活動や個の登壇が少なく、交流の場としての性格が強い。共同調理など日常的な関わり合いは多く見られ、連帯感・集住意識などはよく育まれ、一体的なコミュニティとなっている。

それに対して、個人活動や個の登壇、居合わせの場としての意識も強く共用部はとても混在的である放任型は共用部の変化もよく感じており、1人暮らしにはない楽しみとして親しまれている。漂流的な人間関係や弱いコミュニケーションは即時的なハレの場を創出するなど様々な出来事に展開する創発の素地を孕んでいる。放任型の自律性を明らかにするため、次節より放任型の暮らし実態と空間との対応関係を見ていく。

6-2. 放任型の個人生活の特性

【クラスター型】 個室と共用部で一体的に生活・人付き合いや団らんを行う一体生活型と、主に個室で生活・人付き合いを行い、実用面や気分転換として共用部を利用する個室生活型の2つに分かれる。

【共用部分散型】 個室での人付き合いは全くなく、すべての人が共用部で団らんを行う。個人生活が共用部に展開されている人も多いが、個室と共用部の生活を切り分ける公私分離型の2つに分かれる。

【共用部一体型】 共用部で団らん・個人生活をする共用部生活型と、共用部と個室で人付き合い・個人生活も行う一体生活型と、個室で主な生活行為・人付き合いを行い実用面や気分転換として共用部を利用する個室生活型の3つに分かれる(図6)。

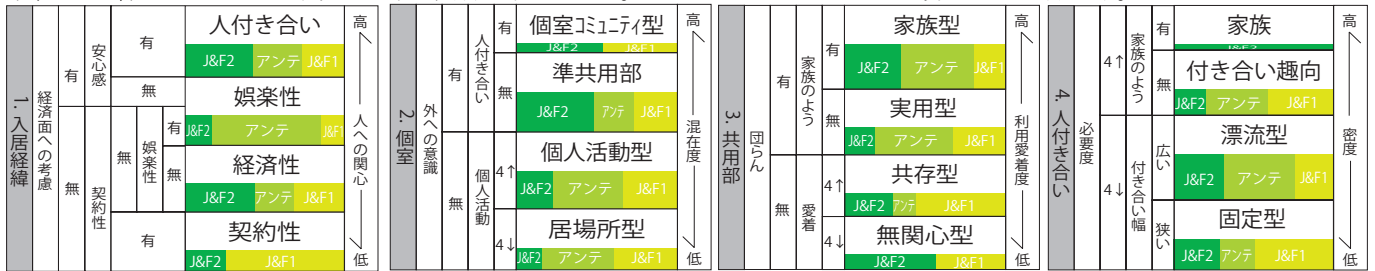


図5: 居住者の分類結果

	個室と共用部の関係性	人付き合いと個室の関係性	人付き合いと共用部の関係性																																																																																																																														
クラスター型	一体生活+個室生活 個室と共用部どちらでも人付き合いを行い一体的に生活している居住者と、個室での人付き合いや生活を主にし気分転換のように共用部を使う居住者の2つに大きく分類される。共用部の利用率も他のシェアハウスに比べ低く、一部の人が共用部を使いこなしており、生活スタイルの分離が見られる。	個室展開+個室コミュニティ 個室で人付き合いを行う人は全体の人付き合いも強固である。その中でもその付き合いを家族のように感じ広がっている居住者と、個室での濃い人付き合いのみに留まっている個室コミュニティの2つに分類される。クラスターというまとまりの影響は個室同士の付き合いさらには全体へと大きく関係している。	共用部団らん+無関心 共用部での活動が多い居住者は全体の人付き合いも盛んな共用部団らん型が多い。しかしそのほとんどは個室コミュニティを持っている人で、個室コミュニティの展開と言える。それと乖離して共用部をあまり使わず人付き合いもしない居住者も存在する。ここまで乖離するほど、強固なコミュニティが存在する。																																																																																																																														
	共用部生活+公私分離 共用部で人付き合いや生活のほとんどを行い個室を1人になる居場所ではないと考えている居住者と、共用部で人付き合いを行うが読書などの個人活動は個室で行い公私分離している居住者の大きく2つに分類される。どちらにしても共用部の利用頻度はとても高い。	無関係 個室コミュニティは存在せず、個室同士の付き合いはほとんどない。個室の使い方と人付き合いの関係性はあまり見られず、個室の在り方は人付き合いに関係しない。	共用部団らん 居住者ほとんどが、共用部での活動が多く人付き合いも盛んな共用部団らん型である。共用部が分散しており共用部を気兼ねなく使えることで、個室同士の付き合いはまったくなく、共用部での人付き合いのみとなる。ほとんどの人が共用部で団らんを行っている。																																																																																																																														
共用部分散型	一体生活+共用部生活 他で多く見られた一体生活型や公私分離型は少なく、個室で人付き合いや主の生活を行い気分転換に共用部を使う居住者と、共用部のみで人付き合いや生活を行う共用部生活型の2つに分類される。ただ、クラスター型のように分離している訳ではなく、全体的に様々なタイプの居住者がまばらに存在する。	外コミュニティ+個室コミュニティ 個室での活動はほとんどないが人付き合いが盛んである居住者と、個室での濃い人付き合いのみに留まっている個室コミュニティの2つに分かれている。前者は個室外のみで人付き合いを行っており、後者は個室のみで行っている。さらに個室生活などもおり、1つしかない共用部によって様々な生活が生まれている。	共用部団らん+実用 共用部での活動が多く、人付き合いも盛んな共用部団らん型が一番多い。次いで、共用部の利用は多いがそこまで人付き合いをしない居住者が存在する。他のシェアハウスよりも慣れ合いをせずフラットな関係が見られ、共用部に対する意識の混在が見られる。																																																																																																																														
共用部一体	<table border="1"> <tr><th colspan="2">J&F2(n=21)</th><th colspan="2">アンテ(n=11)</th><th colspan="2">J&F1(n=17)</th></tr> <tr><td>家族</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>実用</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>共存</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>無関心</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>共用部</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>個室</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	J&F2(n=21)		アンテ(n=11)		J&F1(n=17)		家族	●	●	●	●	●	実用	●	●	●	●	●	共存	●	●	●	●	●	無関心	●	●	●	●	●	共用部	●	●	●	●	●	個室	●	●	●	●	●	<table border="1"> <tr><th colspan="2">J&F2(n=21)</th><th colspan="2">アンテ(n=11)</th><th colspan="2">J&F1(n=17)</th></tr> <tr><td>家族</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>人趣向</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>漂流</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>固定</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>人付き合い</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>個室</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	J&F2(n=21)		アンテ(n=11)		J&F1(n=17)		家族	●	●	●	●	●	人趣向	●	●	●	●	●	漂流	●	●	●	●	●	固定	●	●	●	●	●	人付き合い	●	●	●	●	●	個室	●	●	●	●	●	<table border="1"> <tr><th colspan="2">J&F2(n=21)</th><th colspan="2">アンテ(n=11)</th><th colspan="2">J&F1(n=17)</th></tr> <tr><td>家族</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>人趣向</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>漂流</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>固定</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>人付き合い</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>共用部</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> </table>	J&F2(n=21)		アンテ(n=11)		J&F1(n=17)		家族	●	●	●	●	●	人趣向	●	●	●	●	●	漂流	●	●	●	●	●	固定	●	●	●	●	●	人付き合い	●	●	●	●	●	共用部	●	●	●	●	●
J&F2(n=21)		アンテ(n=11)		J&F1(n=17)																																																																																																																													
家族	●	●	●	●	●																																																																																																																												
実用	●	●	●	●	●																																																																																																																												
共存	●	●	●	●	●																																																																																																																												
無関心	●	●	●	●	●																																																																																																																												
共用部	●	●	●	●	●																																																																																																																												
個室	●	●	●	●	●																																																																																																																												
J&F2(n=21)		アンテ(n=11)		J&F1(n=17)																																																																																																																													
家族	●	●	●	●	●																																																																																																																												
人趣向	●	●	●	●	●																																																																																																																												
漂流	●	●	●	●	●																																																																																																																												
固定	●	●	●	●	●																																																																																																																												
人付き合い	●	●	●	●	●																																																																																																																												
個室	●	●	●	●	●																																																																																																																												
J&F2(n=21)		アンテ(n=11)		J&F1(n=17)																																																																																																																													
家族	●	●	●	●	●																																																																																																																												
人趣向	●	●	●	●	●																																																																																																																												
漂流	●	●	●	●	●																																																																																																																												
固定	●	●	●	●	●																																																																																																																												
人付き合い	●	●	●	●	●																																																																																																																												
共用部	●	●	●	●	●																																																																																																																												
クロス図	<table border="1"> <tr><td>家族</td><td>共用部生活</td><td>公私切斷</td><td>一体生活</td><td>人付き合い</td></tr> <tr><td>実用</td><td colspan="2">気分転換</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>共存</td><td colspan="2">個室生活</td><td colspan="2">個室コミュニティ</td></tr> <tr><td>無関心</td><td colspan="2">居室</td><td colspan="2">個人活動</td></tr> <tr><td>共用部</td><td colspan="2">居室</td><td colspan="2">個人活動</td></tr> </table>	家族	共用部生活	公私切斷	一体生活	人付き合い	実用	気分転換				共存	個室生活		個室コミュニティ		無関心	居室		個人活動		共用部	居室		個人活動		<table border="1"> <tr><td>家族</td><td>人付き合い</td><td>公私分離</td><td colspan="2">個室展開</td></tr> <tr><td>人趣向</td><td colspan="2">漂流</td><td colspan="2">個室コミュニティ</td></tr> <tr><td>漂流</td><td colspan="2">漂流</td><td colspan="2">個室コミュニティ</td></tr> <tr><td>固定</td><td colspan="2">個室生活</td><td colspan="2">一部親密</td></tr> <tr><td>人付き合い</td><td colspan="2">居室</td><td colspan="2">個人活動</td></tr> <tr><td>個室</td><td colspan="2">居室</td><td colspan="2">個人活動</td></tr> </table>	家族	人付き合い	公私分離	個室展開		人趣向	漂流		個室コミュニティ		漂流	漂流		個室コミュニティ		固定	個室生活		一部親密		人付き合い	居室		個人活動		個室	居室		個人活動		<table border="1"> <tr><td>家族</td><td colspan="2">一部親密</td><td colspan="2">共用部団らん</td></tr> <tr><td>人趣向</td><td colspan="2">個室コミュニティ</td><td colspan="2">愛用</td></tr> <tr><td>漂流</td><td colspan="2">愛用</td><td colspan="2">共用部団らん</td></tr> <tr><td>固定</td><td colspan="2">マイペース</td><td colspan="2">共用部団らん</td></tr> <tr><td>人付き合い</td><td colspan="2">無関心</td><td colspan="2">共用部</td></tr> <tr><td>共用部</td><td colspan="2">無関心</td><td colspan="2">共用部</td></tr> </table>	家族	一部親密		共用部団らん		人趣向	個室コミュニティ		愛用		漂流	愛用		共用部団らん		固定	マイペース		共用部団らん		人付き合い	無関心		共用部		共用部	無関心		共用部																																										
家族	共用部生活	公私切斷	一体生活	人付き合い																																																																																																																													
実用	気分転換																																																																																																																																
共存	個室生活		個室コミュニティ																																																																																																																														
無関心	居室		個人活動																																																																																																																														
共用部	居室		個人活動																																																																																																																														
家族	人付き合い	公私分離	個室展開																																																																																																																														
人趣向	漂流		個室コミュニティ																																																																																																																														
漂流	漂流		個室コミュニティ																																																																																																																														
固定	個室生活		一部親密																																																																																																																														
人付き合い	居室		個人活動																																																																																																																														
個室	居室		個人活動																																																																																																																														
家族	一部親密		共用部団らん																																																																																																																														
人趣向	個室コミュニティ		愛用																																																																																																																														
漂流	愛用		共用部団らん																																																																																																																														
固定	マイペース		共用部団らん																																																																																																																														
人付き合い	無関心		共用部																																																																																																																														
共用部	無関心		共用部																																																																																																																														

図6: 放任型の個人生活の特性

6-3. 暮らしの混在性

ばらつきの見られた「人付き合いの仕方」と「共用部や人付き合いに対する意識」で各項目を分類したものを図にまとめた(図5)。共用部についても利用頻度、共用部に対する期待、使い方など1人ひとりが窮屈さを感じず個別的である。

6-4. 放任型の個人生活と空間特性

放任型において、個人生活・人付き合い・人的ネットワーク形成は空間特性によって特徴が現れることがわかった。各空間特性ごとに述べる。

【クラスター型】 個室やクラスターで育まれる小規模シェア居住のような強い関係性が存在する。そのままクラスター生活をする居住者もいるが、共用部で展開する場面もあり全体としても強い関係性を作り出している。そのため大規模でありながら局所でほかにはない家族性が見られ安定した創発を引き出している。

【共用部分散型】 全員がどこかの共用部で密度はまばらではあるが人付き合いを行っており、全体としてフラットにつながっている。そのため自立分散生活が起こり、漂流的な創発が引き出されている。

【共用部一体型】 1つしかない共用部で団らんを行わない人は個室同士の付き合いが起こるなど順応が見られる。そのため複層的なコミュニティが存在し、意識の混在が創発を引き出している。

6-5. 放任型の自律メカニズムについて

【クラスター型】 クラスター付き合いから展開された強い関係性が全体の核となり、全体の安心や気遣いをも創発している。

【共用部分散型】 いくつもある共用部を利用することで自律分散的な生活が存在し、全体としても漂流的な人付き合いが自律運営を創発している。

【共用部一体型】 1つしかない共用部の利用の仕方や頻

度は様々であり、そういった共用部に対する意識が混在していることを居住者は暗黙のうちに理解しており、混在的な共用部が創発を引き出している。

第7章 結論

大規模シェア居住での個人の暮らしは運営方式で大きく左右される。運営主導型は管理人がイベントを企画するなどコミュニティの中心に存在し、手招きの関係性に代表されるような一体的で安定した関係性が起こる。それに対して放任型は居住者自身で助け合いやハレの場の創出など、自律的に運営しており混在的である。その自律性の形成過程は空間特性に大きく影響を受ける。クラスター型では閉ざされた小さな共用部でできた強いコミュニティが大きな共用部でも展開されており、強い関係性が保たれている。分散的な共用部では、個人生活の確立が容易で自律分散的な個人生活が広がっており、漂流的な弱い繋がりが全体として存在している。一体的な共用部では生活の重なりが多く、間接的なコミュニケーションによる弱いつながりが一体を繋いでいるが、それだけではなく個人的な付き合いを求めて個室同士の付き合いも盛んである(図7)。

以上の生活特性により、①生活の重なりによる出会い確率の高さ②漂流的で匿名的な弱いつながり③意識の混在を許容する集住意識、の3つが創発素地として確認でき、質の違った創発景が実現されていた。①からは家族性やふとした出会いから団らんやイベントに発展するような非日常、②からは自律分散的な生活や無意識の安心など、③からは匿名の連鎖や集住意識、居合わせの非日常などが創出されていた。

創発は居住者に無意識的なハレの場を創出し張り合いのある生活を実現し、自律分散的な生活が全体の自律運営性を高め、無意識の安心は居住者の安寧や集住意識を刺激し、匿名的な出来事の連鎖を引き出すなど様々な影響とともに豊かさの獲得に寄与している。

運営 建物	運営主導 共用部一体型	クラスター型	放任 共用部分散型	共用部一体型
人的ネットワーク図				
自律メカニズム説明	一体的コミュニティ 共用部の混在度が低く共用部の変化を感じていない傾向にある。個人活動や個の登壇が少なく、交流の場としての性格が強い。共同調理など日常的な関わり合いは多く見られるが、イベントを企画するなどハレの場を創出することに置いては、あまり居住者の発起が見られない。ただ、連帯感・集住意識などはよく育まれており、コミュニティを一体的だと感じている。安定した関係は居住者の安心につながっている。	クラスター展開コミュニティ 3個室がクラスターというまとまりで共用の洗面などを利用する建物計画になっており、人付き合いもそこから始まる。そこでは小規模で起こるような強い関係性などが生まれ、その関係性が共用部などでも展開されることで、一体的な強固コミュニティを持つ。それゆえ、ほかで見られるような混在的で漂流的な関係性が主体ではなく、安定した暮らしが広がっている。	漂流コミュニティ 対象とするシェアハウスの中で最も分散した共用部を持ち、個人生活の確立が一番容易である。そのため、共用部や人付き合いの選択性や埋没性が高く、広がっている混在的で漂流的な暮らしが創発を引き出している。そのため個室にまで人付き合いを持ち込むことはほとんどなく、密な関係性を引き出す機会は少ない。	混在コミュニティ 一体的な共用部であるため、生活に欠くことができず居住者の共用部利用は他のシェアハウスよりも高く他よりも埋没性が低い。そのため人付き合いは個室や屋上、ダイニングなど各場所に展開されている。しかしどれもが独立的ではなく、生活の場での重なりは存在し食事風景・気遣いなどは共存的である。そのため混在度も高く、創発的である。

図7: 人的ネットワーク形成過程図

倉方：読ませて頂いたんで、少し厳しく言いますと、これもさっきの上田さんのと一緒にプロパガンダなんです。しかも、しかも、これは計画の論文とは言えないと思うんです。なんか、つまり数値的なものがいっさい無い。で、これもさっきの図みたいなの書いてますが、あれ丸の付け方が恣意的で、全体に全て恣意的なんです。語のつけかたも、これも自分が言っているだけで根拠が何も無い。と思います。7つに分類できると言っているけど、9つにも5つにも分類できるし。別の言葉でも当てはまるし。つまり。デザイン研の論文きいてる見たい。うちのデザイン研ではなくて、僕歴史研なんで。うちデザイン研みたいなの論文書くなつていつも言うんですけど。要するに自分の思い込みで強いと弱さがあるでしょ？なんかね、私はこれよくわからない。あとは論文の書き方もかっこの使い方も注も全然なっていないし。ちょっとまずいなって。やっぱり論文なんで、実証性というか、つまり個人目メモになってしまっている。あなたの使い方の言葉であって、それを共有されるものっていうのがそれが正しいメモの使い方であって、たぶん数値であったりすると思うんですけど、それがあまり私には感じられない。それに対して何か反論を。

北野：はい。まず、恣意的ということに対して、研究を通して創発というのが計画できないとすごく思っていて、その中でもあきらめているというか、予期せぬ出来事についてすごい計画者があきらめている姿勢というのが問題意識にあって。その、素地を作れるんだということを本研究では言いたくて、その為には実証的な空間との対応関係などで決定的な因果関係というのが見つからないんです。やっぱり計画できないんで。その中での素地というのは、ヒアリングを通しての話しがすごく多くて。言われていた丸の付けかたは、研究室でもいろいろ言われたのですが、そこに根拠を求めるんではなくて、やっぱり実際、創発というのを作り出すのは無理じゃなくて、実際に存在しているということを明らかにして、それに対して住んでる人がどういう意義を感じて、どう楽しんでいるのかうっとうしがっているのかを明らかにすることが最優先であって、それを引き出す因果関係というのは自分の中でもあいまいではあります。なので、素地という言葉。

倉方：ちょっといい？一言だけ

北野：はい

倉方：それはそれで他人表明してもらったら良いと思います。ただ、出来ないことを証明できないことは注目するしかないんですよ。それは、あなたがした

いんだったら、小説を書くなりあるいはデザイナーとしてそういうものっていうのを実際につくる。創発おこるものを作ればいいのであって。ただ、論文で私はやることではないと思います。論文で出来ることと論文で出来ないことがあるので。実証できないことは歴史で実証できないですから。やっぱり、論文として書くべきことと、ほかのジャンルでかくべきこととあるのかなというのが、私の立場です。

北野：ちょっとだけ、それに返事してもいいですか？これがその放任型で実施したアンケート結果なんですけど、それで自分が実証したなと思う部分を説明したいんですけど、やっぱり、かくかく、シェア居住で人付き合いの始まり方や展開のされ方というのは実証的であって、それが創発の素地であるかというのはあいまいです。なので、アンケートをクロスした時にやっぱり特徴でるのは個室で人付き合いをするのかどうか、それをしたとして共用部で展開するのかどうか、公私分離をするのかどうかというので漂流的であるのかどうか、強い関係をもとめているのかどうか、混在を容認しているのかどうかというところは、実証的に中でおこっている実態というのは実証していると感じています。

佐久間：僕からひとつ。創発というのは持続するんですか？その、シェア居住で3年くらいなんか楽しい関係が広がっていくっていうのは想像できるんですけど、暮らして言うのはもう少しまったりしたものだと思うんですけど、そういう創発する関係というのは持続するのだろうかという。気になったんですけど。

北野：素地に対して、創発の質がやっぱり違って、持続する創発としない創発があると思います。特に真ん中の漂流的なのはやっぱり、シェア居住に人生の過程で暮らす住まいとして意識している人が多くて、そういう人たちの意識によって出来てる創発素地なので、そういったものが持続するかっていうと全く別のカタチであって、でも、この核。クラスター型で出来てる核って言うのはやっぱりこのシェア居住には核がいくつもあって、そういうのは継続的に持続的にここの自立性を保っていると思います。